



市議会報あやせ

●平成19年(2007年)6月
発行 綾瀬市議会
☎0467-70-5644
編集 議会報編集委員会



新たな22人の議員が誕生しました。これからの4年間、市民の代表として綾瀬市発展のため力を尽くします

平成19年度6会計予算は総額431億1千万円に

小児医療費の助成を満七歳までに拡大

3月定例会

三月定例会が、二月二十八日から三月二十二日までの二十三日間の会期で開かれました。この定例会では、平成十八年度五会計補正予算、平成十九年度六会計予算、ごみの投票防止によるきれいなまちづくり条例の制定、国民健康保険条例の一部改正、副市長の選任など市長から提出された三十二議案を審議し、それぞれ可決、同意、議員提出議案では、委員会条例及び会議規則の一部改正を可決しました。また五月臨時会が十五日、選挙後の初議会として開かれ、市長提出議案一件、議員提出議案一件を同意、可決、新しい正副議長や各常任委員会委員などが決まりました。(案件名と結果は八ページに掲載)

市民の力と行政が一体と なつて進めるまちづくり

施政方針

三月定例会に市長は、平成十九年度一般会計予算二百三十八億円を柱に、六会計予算総額四百三十一億一千万円を提案し、併せて新年度の施政方針を述べました。
その中で市長は、先人から受け継いだこのまちに市民が愛着と誇りを持って暮らせるよう市民協働により力を合わせ、活力と思いやりに満ちたまちを目指して、本市の財政状況は、所得税から個人住民税への税源移譲等により個人市民税で大幅な増収が見込まれる一方、所得課税の削減や定率減税の廃止に伴う地方特例交付金等の減収、引き続き不交付が予測される普通交付税など厳しい状況であるが、全ての事務事業を対象に原点からの再考や経常的経費の内容精査を行つて政策経費を確保し、九つの政策の推進と市民満足度を高める事業への重点配分に努め、一般会計で前年度比三億五千万円(一・五%)増の堅実で実践型の予算を編成したと述べています。
また、主な施策としては、市民満足度調査の実施、寺尾天台地区の自治会館整備、メールの一斉配信による情報提供、全国瞬時警報システム運用開始に伴つた防災行政用無線装置の改修、児童施設等周辺の路面標示、

国民健康保険 税を値上げ

本定例会に提出された議案のうち、個人情報保護条例の一部改正は、指定管理者にも個人情報の適正な取扱いを講じるよう規定するもの、副市長定数条例は、地方自治法の改正で助役が副市長に変わり、その定数を二人と定めるため条例を制定するもの、一般職の職員の給与に関する条例の一部改正は、扶養手当における三人目以降の子を二千円引き上げ七千円とするほか、管理職手当を定率制から職区分別の定額制とし減額するもの、一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正は、休憩時間を廃止するもの、心身障害者愛護手当支給条例の一部改正は、新たに精神障害者も支給の対象とするもの、小児医療費助成条例の一部改正は、一歳引き上げ満七歳までを助成の対象とするもの、国民健康保険条例の一部改正は、事業会計の健全性を保つため課税額を改定するもの、ごみの投票防止によるきれいなまちづくり条例は、ポイ捨てや犬猫のふん放置等ごみの投票を防止するため条例を制定するもの、公共下水道事業受益者分担に関する条例は、市街化調整区域の下水道整備に当たり受益者分担金を徴収するため条例を制定するもので、そのほかの多くは、助役から副市長への変更を主に地方自治法の改正に伴う所要の改正をするものです。さらに、寺尾北自治会館が完成したことから、指定管

理者として寺尾北自治会が指定されました。
また、補正予算は、一般会計と四特別会計の総額で五億四千五百六十七万七千円を減額するもので、市有地売り払いの減額に伴う公共用地取得基金積立金の減や老人医療保険の医療給付が当初見込みを下回ることに伴う減が主なものです。このほか、市長から提出された三十議案すべてを原案のとおり可決しました。

もつ一人の副市長は 近藤 吉和氏に

最終日には市長から二議案が追加され、固定資産評価審査委員会委員に川口賢一氏(深谷中)の再任、副市長には近藤吉和氏(元収入役)の選任に全会一致で同意しました。なお、これで副市長は、旧助役(新倉正治氏)との二人になりました。
議員提出議案としては委員会条例と会議規則の一部改正の二件が追加され、常任委員会委員定数の見直しや地方自治法の改正により、所要の改正をするものです。

5月臨時会

五月臨時会では、正副議長の選挙が行われ、議長に吉川重夫議員、副議長に出口けい子議員を選出したほか、議会運営委員会などの各委員を選任しました。また、市長から提出された監査委員の選任に関する議案では、増田淳一郎議員を選出することに同意しました。(各委員会などの構成は七ページに掲載)

就任あいさつ

市民の皆様には、日頃から市政の推進に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、このたび私も両名は、議員各位のご推挙によりまして、議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身にあまる光栄と存じますと



副議長
出口けい子



議長
吉川重夫

も、職責の重さを痛感し身の引き締まる思いでございます。
もとより微力ではありますが、最終中立公正な立場で円滑なる議会運営に努め、市政の意思決定機関として、市民の声を的確に反映させ、皆様の信頼にこたえてまいりますので、ご協力をお願いします。
今後とも、市政に対する市民各位のより一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。